

## 「鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る効果・検証について (平成30年度実績及び令和元年度事業概要)

### 1 はじめに ～国と市の地方創生について～

地方創生は、少子高齢化に歯止めをかけ、地域の人口減少と地域経済の縮小を克服し、将来にわたって成長力を確保することを目指しており、国は、平成26年度に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、人口の将来の方向などを提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、本ビジョンの内容を踏まえた5か年の政策目標や施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

また、本市でも平成27年度に、市における人口の現状や将来人口の推計、将来展望を踏まえ、目指すべき将来の方向を定めた「鎌ヶ谷市人口ビジョン」や、人口ビジョンを踏まえ、本市の地方創生を着実に進めていくための具体的な施策を定めた「鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

このように、地方創生は、平成26・27年度の国及び地方における総合戦略の策定を経て、平成28年度から本格的な事業展開に入っており、今年度は「総合戦略」の5年目にあたります。

国では、地方公共団体に対し、財政支援をはじめとした支援を行い、現在の取組を更に進化させるとともに、地方創生を加速化するための取組を行っていますが、本市においても、総合戦略に位置付けた事業のうち、新規で実施する事業や拡充していく事業について、今年度当初予算に計上し、積極的な事業展開を図っていると同時に、国が交付する「地方創生推進交付金」を活用し、市の地方創生を推進しています。



「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」より

## 2 総合戦略の推進について

市の総合戦略では、人口ビジョンで掲げた将来人口の達成に向け、3つの方向性（自然増、社会増、定住）に沿って、4つの基本目標を設定しており、この基本目標に対し、68の具体的な施策、149の具体的な事業を掲げています。

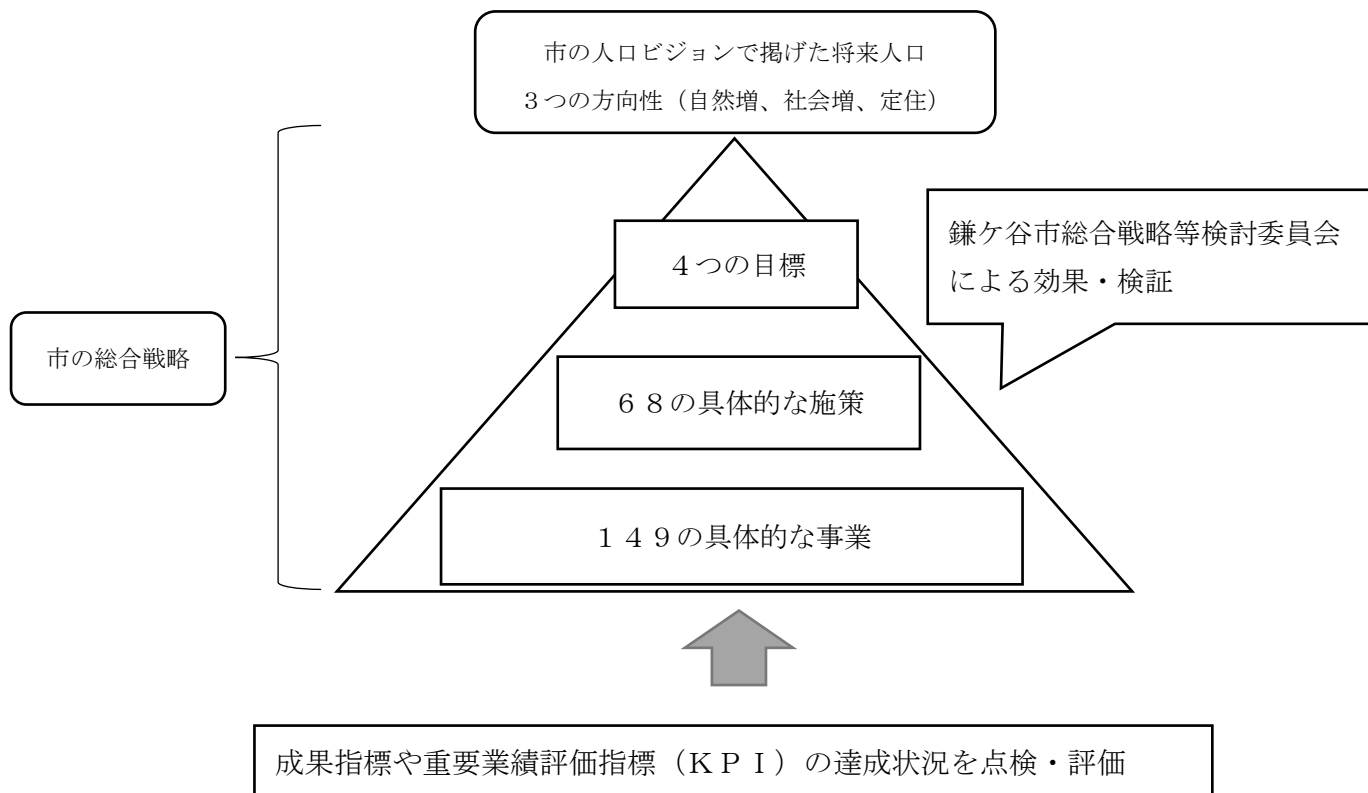
市では、4つの基本目標を柱として、各施策の基本的方向を踏まえ、施策に掲げる重要業績評価指標（KPI）の目標に近づくよう、地方創生推進交付金を活用しながら、市民との協働により事業を推進しています。

## 3 施策の効果・検証について

総合戦略に掲げる各施策を着実に実施していくとともに、総合戦略に位置付けた施策の効果を検証するため、市では、数値目標による進捗管理を行うことを総合戦略では定めています。（総合戦略 55 頁参照）

具体的には、本市で既に導入・実施している行政評価制度を活用し、各基本目標及び施策に設定した成果指標や重要業績評価指標（KPI）を踏まえ、点検・評価を行います。

また、効果・検証にあたっては、その妥当性や客観性を担保するため、「鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会」を開催し、施策の効果を検証します。



#### 4 平成30年度の取組結果等に係る評価について

上記「3」を踏まえ、市では、平成30年度の取組み結果及び今後の課題等について、総合戦略に掲げる4つの基本目標及びそれぞれの具体的な施策、事業ごとに評価を行いました。(資料2参照)

「鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会」では、これらの事業実績について、効果・検証を行っていきます。

##### (1) 成果指標、重要業績評価指標の進捗状況

###### ①基本目標の成果指標に係る進捗状況

	成果指標名	平成30年度実績値 (平成29年度実績値)	平成31(R1)年度目標値
基本目標1	社会増加数	332人 (478人)	1,000人
基本目標2	合計特殊出生率	1.29 (1.28)	1.6
基本目標3	雇用・就労人数	109人 (124人) 累計523人	1,275人 (5年間の雇用・ 就労人数)
基本目標4	自治会加入世帯数	28,580世帯 (28,712世帯)	29,800世帯
	自主防災活動	72回 (57回)	120回

###### ②具体的事業の重要業績評価指標(KPI)に係る進捗状況(前年度比較)

	重要業績評価指標の数	上昇	維持	低下
基本目標1	13	10	1	2(1)
基本目標2	32	15	10	7(2)
基本目標3	20	11	5	4(1)
基本目標4	32	12	10	10(2)
	97	48	26	23(6)

※「低下」の欄の括弧内数値は、前年度と比べ数値が低下したものの、H31(R1)年度の目標値を既に達成している指標の数。

## 5 今後の市の地方創生について

前述「4」のとおり、総合戦略の各施策の実績について、鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会で効果・検証を行います。

### ○平成31（R1）年度実施している市の地方創生の取組み

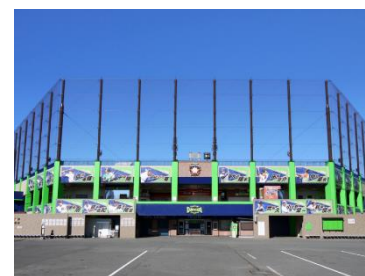
平成31（R1）年度は、総合戦略の5年目として、これまで4年間取り取組んできた総合戦略に掲げる事業について、より一層力を入れていくとともに、総合戦略に掲げた4つの基本目標の指標達成に向け、事業の推進を図っています。

また、総合戦略に位置付けた事業のうち、先駆性を有し、特徴ある取組みとして、国の交付金である「地方創生推進交付金」を活用することで、積極的に市の地方創生に取り組んでいます。

#### 今年度取り組んでいる総合戦略の事業（一例）

##### 成果指標1 人々が交流・定着する、魅力あふれるまちづくり

- (1) 【新規】公衆無線LAN整備事業
- (2) 【新規】市の魅力発信事業の推進  
(魅力発信アドバイザー（プロジェクトマネージャー）)
- (3) 観光ビジョン推進事業
- (4) 北海道日本ハムファイターズとの連携強化事業
- (5) 市民参加型スポーツイベント事業
- (6) イルミネーション整備事業
- (7) 桜×鎌ヶ谷＝魅力アップ事業



##### 成果指標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり

- (1) 子ども医療費助成事業（小4～中3通院分）
- (2) 特別支援教育推進事業
- (3) 地域子育て支援拠点事業（つどいの広場）
- (4) 病児保育整備事業
- (5) 子育て支援PR事業（子育て応援イベント等の開催）
- (6) 婚活イベントの実施
- (7) ライフデザイン手帳作成・配布事業



### 成果指標 3 働きたいという希望をかなえるまちづくり

- (1) シルバー人材センター活用・就労促進事業
- (2) 空き店舗活用事業
- (3) コミュニティ・ベンチャー事業補助金活用促進事業
- (4) “かまたん”を活用した農産物ブランドPR事業
- (5) 企業誘致基本計画推進事業
- (6) 鎌ヶ谷農産物ブランド認定農家拡充事業
- (7) 女性の就職促進支援事業



### 成果指標 4

#### あらゆる世代の誰もが安心して暮らすことのできる、支え合いつながり合う地域づくり

- (1) 【新規】避難支援マニュアルの作成  
(避難行動要支援者避難支援制度)
- (2) 新京成線連続立体交差事業
- (3) コミュニティバス運行助成事業
- (4) 住宅用再生可能エネルギー・省エネルギー設備  
設置促進事業
- (5) 老人憩の家整備及び維持管理補助事業
- (6) 協議会等活動支援事業（青少年教育関係団体）
- (7) 市民活動相談事業（プロジェクトマネージャー）
- (8) 北千葉道路整備事業
- (9) かまがや安心医療ナビシステムの運営
- (10) 空家等対策事業



### 地方創生推進交付金を活用した事業

#### ○「ふるさと名物商品推進事業」

昨年度に引き続き、市内の農業団体（ふるさと梨の会）や商工会、日本ハムファイターズと連携し、市の特産物である梨のインターネットによる販売を実施するとともに、羽田空港によるPRイベントや、北海道及び沖縄県において、梨及び市のふるさと産品の販売を促進し、これらの知名度向上や販路拡大を図り、農家の後継者不足の解消を目指していきます。



### ○平成 3 1 (R1) 年度以降の取り組み

平成 2 7 年度に策定した「鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、平成 3 1 (R1) 年度で 5 年目を迎え、計画の最終年度となります。

そのため、平成 3 1 (R1) 年度は、これまで実施してきた各事業の進捗状況の総点検を行ったうえで、次期総合戦略の策定に取り組んでいきます。

### 6 今年度のスケジュールについて (予定)

日時	概要
8 月 2 7 日 (火)	政策調整会議に付議
9 月 9 日 (月)	連絡会議に付議
9 月中旬	市長決裁⇒委員へ資料の送付
9 月下旬～	鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会を開催 (書面会議) し、意見を聴取。
1 0 月中	委員会の意見を集約し、次年度以降の取組みに活かせるよう庁内へ通知
1 1 月以降	国、県の動向を踏まえ、次期総合戦略の策定について、方針を決定していく。